

青葉が目に沁み、時鳥の声^{ほことあらす}が耳を楽しませ、初鯉に舌鼓を打ち、五感をさまざまに刺激する五月がやってきました。

デイサービス八重桜本店

「待ちに待ったお花見ドライブ」



動されている様子でした。

現地に書いて集合写真撮影。どのご利用者さまも桜の下で満面の笑みで写真に納まっておられました。晴天に恵まれ、また開花時期にもぴったりで、今年のお花見ドライブは大成功でした。来年もまたご利用者さまの素敵な笑顔を見せていただくために、皆さま元気でこの一年も過ごしていただけたことがスタッフ一同の願いです。

「人気のハエ叩きゲームに挑戦」

八重桜本店では、毎月のレクリエーションの中でも人気の高いハエ叩きゲーム。ハエのイラストに得点をつけて本物のハエ叩きで思いっきり叩き、獲得した得点の合計点を競います。一度に複数を獲得すると高得点になるのですが、複数狙う方、得点の高いハエを一点集中で

今年も、桜満開の花便りを求めてお花見ドライブに行ってきました。例年三月末に予定を告知しますが、予定日の天候には期待より不安がつのります。さらに長期予報では雨の日が多いとあってご利用者さまはますます心配顔に。ところが、当日はそんな不安もごへやらず、ばらばら晴天に。ドライブは佐保川沿いを走るルートで、堤に咲き誇る桜並木は圧巻の綺麗さ。車中のご利用者さまは「めっちゃ綺麗!」「これは見事やなあ」と心から感



狙う方、ご利用者さまの個性が反映されたゲームになりました。頭と身体を刺激され、終えられた皆さまの顔には心地いい充実感が滲んでいました。感想を伺うと一様に好印象が目立ち、高得点の方は喜びを、あまり得点が伸びなかった方は悔しさをそれぞれ仰っていました。ただ、皆さま楽しめるという一番大切なことは達成できていたので、これからも続けていきたいと思えます。

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

アク

西 勝康

春野菜の代表的なものに筍があります。えぐみの強い筍はアク抜きが欠かせません。わらびやぜんまいもアクの強い野菜ですね。春野菜にはアクの強いものが多いです。アクとは苦味や渋みの元となる成分のことを言います。各々の野菜のアク抜きは野菜によって幾通りかあります。筍は米ぬか、わらびはわら灰を使って茹でたりしますね。

ただ「アク」は「害」ではありません、しかし適度に取り除いた方が美しく食せます。昔の知り合いの料理人のなかには「アク」も味の肉と云う人もいましたね。そういうえば、その人もアクの強い人でしたが…



デイサービス八重桜 朱雀

「楽しいお花見ドライブでした」



寒い日も無くなり、暖かい風が心地よい季節になりました。さて、いよいよお待ちに待ったお花見の季節になりました。

桜、さくら、櫻、言葉は違えど日本人の心の故郷である桜。今日は久しぶりの屋外ドライブで春を満喫しました。まずは近くの名所に立ち寄り、皆さま車を降りて桜の満開で綺麗なピンク色の花びらが風にそよそよと揺れているのには感動されていました。ソメイヨシノにご利用者さまはしばし無言でした。そして桜を背景にして全員で記念写真をパチリ。少し風の強い日でしたが、皆さまは最高の笑顔を見せていました。帰りは車窓からも桜を楽しみました。およそ一キロメートルに及ぶ桜並木にご利用者さまからは大きな歓声が。桜吹雪が舞い散る様子を大満足な一日になりました。

「ボール下ろしゲーム」

お花見ドライブも無事に終わり、ご利用者さまは先日の桜の話を楽しそうに話してました。さて、八重桜朱雀館では少しリハビリを兼ねた楽しいゲームを日々企画させていただいています。今回は「ボール下ろしゲーム」です。道具は使わなくなった段ボールを細工して作りました。ボールを五球用意し、段ボールの上からそれぞれ点数が付いたところへ下ろしていくゲームです。集中力と両手を使ったゲームなので、「これは難しいな」と苦戦されている姿も見えました。周りの人たちが頑張れー！と声援を受けてかなり盛り上がったゲームになりました。一位の方は八百点と高得点をあげました。これから暑い季節になってきますので水分補給に気を付けてつつ、楽しいレクリエーションを皆さままでしましょね。



デイサービス八重桜 押熊

「皆さま笑顔のお花見ドライブ」



今年も八重桜恒例のお花見ドライブが始まりました。押熊館周辺の桜は、ほぼ例年通りの満開の時期を迎え、何組かのグループに分かれてお花見を楽しみました。

近頃はコロナ禍のために外に出る機会がめっきり少なくなりましたが、お花見という言葉だけでも心がウキウキするものです。

近くの池のほとりに植えられた満開の桜並木を鑑賞するグループと近くの中学校の校門前の桜並木、秋篠川沿いの桜並木の桜を鑑賞するグループに分かれて、花見に行きました。晴天に恵まれた春の日差しを浴びながら、「綺麗やなあ。満開やなあ。」の「外に出られて、気持ちがいいなあ。」という声があちらこちらから聞こえてきます。ご利用者さまの表情も桜に負けず劣らず笑顔満開の一日になりました。

「来月のカレンダー作り」

今月のカレンダーのテーマは、子供の日です。童謡に歌われる金太郎と鯉のぼりです。

「鉞担いだ金太郎、熊にまたがり、お馬の稽古、ハイソウドウドウ、ハイドウドウドウ」見本をみながら、手にはスタップの手を借りながらの製作です。金太郎の顔は、皆さまの個性が現れて、強そうな顔、優しい顔、元気そうな明るい笑顔などが出来上がりました。

製作前には、皆さまで歌を歌いました。皆さま懐かしいなあと言いつつ、元気よく歌ってくださいました。昔は家に飾ってあった、鯉のぼりや兜、鎧などの話で盛り上がっておられました。

「屋根より高い鯉のぼり、大きな真鯉はお父さん、小さい緋鯉は子供たち、面白そうに、泳いでる」家族仲良く、大空に翻っています。



デイサービス八重桜 平城

「お花見ドライブ」



いく光景を、穏やかに心地よくご覧になっている皆さまの笑顔が印象的でした。桜はどんな時でも人々の心の拠り所であることを確信しました。

「フロアボーリング大会でやったー！」

リビングの床がレーンに早変わりしてのボーリング大会です。ピンの後ろにはティッシュの箱が積んであり、それを倒せばボーンポイントです。ゴム製のボールを転がすのは、片手でも両手でも立ったままでも座っていても構いません。ナイスショットが決まった時の皆さまの拍手にガッツポーズされたり、ちょっぴり照れ臭そうに笑顔で応えられたり。ボールがピンの前で止まったり、横に逸れたりした時には、「あー」「惜しい」の声に、ご本人も悔しそつな仕草で苦笑いです。一喜一憂で盛り上がる雰囲気、最初は参加されていなかった方々も集まって来られ、レーンを囲む皆さまの「輪」が歓声と共に大きくなって行きました。五十年以上前の昭和四十年代後半にボーリングが大流行した時のことを懐かしがられている方もおられました。



デイサービス八重桜 西奈良

「今年も満開のお花見ドライブ」



ていました。また来年もこの満開の桜を見たいと、今年一年の活力を受け取ったように思います。

「お好み焼き？をひっくり返してポン！」

今月の新しいゲームは「ひっくり返してポン！」です。丸く切った段ボールに表面にはお好み焼きの具材、裏面にはお好み焼きの写真が貼ってあり、「美味しそうやな」「本物やったらしいの」とご利用者さま。ゲームを作成した職員は口から出る涎を抑えながら作っていたので気持ちはわかります。ひっくり返したお好み焼きの中には、はずれがあったり、得点が書いてあったりとワクワク要素も含まれていたため、ご利用者さまに楽しんでいただく事ができました。また、身体全体を沢山動かす事が出来たので良い運動になりましたね。

ゲーム終了後は、ご利用者さまから「去年の夏祭りは焼きそばだったから、今年はお好み焼き食べたいな」とリクエストがありました。職員の皆さま覚えていてくださいな〜！



藤村が泣いた日

藤村 駿城

認知症を患ってしまった方の記憶はどれくらい維持されるのでしょうか。一日くらいは保たれるのでしょうか。いえ、正常な人間でも二十四時間経てば記憶の六十五%は失われています。八重桜をご利用いただいている方の中で記憶の保持が一番短い方ですと、一秒から三秒ほどです。

先日、ロングステイされている方の娘様とお孫様が面会に来てくださりました。そのご利用者さまの記憶は十秒から十五秒ほどと私は評価していました。ですので、ある程度の会話も成り立ちませせんし、不安で怖いのでしよう、険しい表情をされていることが多いです。

しかし面会中は終始ニコニコしながら娘様やお孫様の名前を呼んだり、昔はこうだった、どこへ行ったなどの話をされておられ、ある程度は文脈のある会話をされていたのです。その光景を目の当たりにし、嬉しくて感動したと同時に自分の無力さに情けなくなり、家族様の前でポロポロと涙を流してしまいました。慣れ親しんだ人、家族、昔馴染みの場所、道具などは認知症が進行していても患者さんご本人にとっては嬉しく、安心でき、脳機能を、記憶さえも復活し、医学的な専門知識をも超越した現象が起きたのです。私の医学的エビデンスを背景にしたちよこざいなケアやリハビリなど足元にも及ばない力がご家族にはあるようです。

昨今の高齢者施設は物的、人的な環境を問題視されるようになってきており、社会学部や福祉系、環境系の大学生が「環境問題」であるとしていくつもの論文が書かれています。特に認知症を患っておられる方に言っではないNGワードは多々あります。知らず知らずに使っている方も多いと思いますが、その言葉一つが認知症患者さんの心を痛めつけたり、症状を悪化させているのです。「ご飯まだか?」と言う認知症患者さんに「さつき食べましたよ」はNGワードなんです。怖いですよ。

環境問題の職場などと言われたいよう精進してまいりますので、今後もよろしくお願ひします。

俳句教室発表句 (敬称を略します)

お花見に 行こうと思つたら 雨が降る 田中弘子

お花見の時期は雨が多くてハラハラですね

満開の 桜眺めて 妻想う 田中鶴太郎

夫婦で桜を見に来ていた頃を想い出されている状況がいいですね

コロナ禍で 桜見物 車から 米村健

桜の満開は、車の中からでも十分綺麗ですよ

ふと見ると 桜の花びら 泳いでる 明星明子

小川に桜の花びらが散って、まるで泳いでいる様に見えますね

公園や 春風に揺れ 桜見ゆ 大塩聖三

綺麗な桜が目に見えます。幸せなひとときですね

宇治橋を 渡れば 桜思い出す 西川愛子

いつか見に来た想い出の桜が上手く表現されていますね

春らんまん 花は櫻木 人は武士 土田瑞枝

何かしらたくましい歌ですね

入居者さま寄稿欄

心の支え

川井 弘子

八重の家に来ていつの間にか十か月が経っていました。窓から見える広い空と樹々の鮮やかな緑、そして現実を知らせてくれる電車の音：このどかで平穏な暮らしの中でフツと八十七才の過去を振り返る時があります。悲喜こもごも全てが順風であったとは思えないのですが、それなりに必死に前を見つめて歩んで来たように思います。

忘れかけていた老後のことにもハット気付き真剣に考えさせられる現実と出会い、その時幸せにも八重の家の御縁をいただくことが出来ました。入居後の不安や戸惑いを感じる間もなく生活にとけこめたのは、職員の方々の行き届いた支えのおかげです。外出の折り「おかえりなさい」と声を掛けていただく言葉にはふと安らぎを感じる時もあります。栄養のバランスなどを考慮していただいている食事の折り品々、そしてデイサービスでは、お誕生日会や趣向を凝らしていただいたその行事の数々：皆さまの笑顔の溢れる幸福の一時です……

これからもズツと穏やかに睦まじく心の交流とともに八重の家の全ての皆さまの平安を心よりお祈り致します。感謝をこめて……

道の歩き

何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。

津田 梅子 (津田塾大学 創立者)